

はじめに

この度は簡易セキュリティ装置 TSEC-01 をご購入いただき誠にありがとうございます。
本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、十分に気をつけて作業を行ってください。
短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。 充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。
また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。
車種毎の配線図を車を購入されたディーラーから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います（必要な部分は、ドアロックアクチュエータ周り、ナビ配線周りの配線図です）
それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

※”キーレス連動セキュリティ基本セット” をご購入いただいた方は、下記の3点がセットになっております。

コントロールユニット本体 TSEC-01 ・ 1台
DEI製 2段階ショックセンサー 504D ・ 1台
セキュリティサイレン SRN-01 ・ 1台

動作仕様

本装置の動作仕様は、下記のとおりとなります。

◎アンサーバックサイレン機能搭載

ACCオフ後のドアロックで1回（キュ！）、アンロックで2回（キュキュ！）とサイレンを短く鳴動させます。

◎キーレス連動セキュリティ機能搭載

ACCオフ後のドアロック検出後、ショック検出センサーを起動し、ショック検出時にサイレンを鳴動させます。

警報サイレンは1回の検出で、キュキュキュ！を15セット鳴動します。

アンロック検出でセキュリティ監視を解除します。

また、下記別売りオプションの各種センサーを同時稼働させることで、セキュリティ性能を向上させることが可能です。

- *DEI製 ボイスユニット 516U（英語）または 516L（日本語）
ボイスユニットを装着すると、各種センサー警報検出時に音声で警告を発することができます。
各種2段階センサーの 1段階目の検出時は音声警告で、2段階目の検出時はサイレンで警告する なども可能になります。
- *DEI製 2段階フィールドセンサー 508D
車両に近づく人を検出し、車内物色する等の挙動不審者を警告します。
- *DEI製 2段階ショックセンサー 504D
車両に加えられた衝撃を検出します。 基本セットに1台含まれますが、増設して検出精度を上げることも可能です。
- *DEI製 オーディオセンサー 506T
ガラスが割られた時の音などを検出できます。
- *DEI製 チルトセンサー 507M
車両の傾きを検出し、ホイール盗難、ジャッキアップなどを抑止します。
- *ボンネット開閉センサー
ボンネットのこじ開けなどを検出できます。
- *各種LEDスキャナー（EL発光インジケータも含まれます）
LED、EL発光点灯などで夜間時にセキュリティ装着車であることをアピールし、イタズラ防止効果をあげます。

◎アクティブスイッチ機能搭載

スーパー駐車場などのセキュリティ誤認識が発生しやすい場所や、セキュリティを一時的にオフしていたいときに

簡単に機能オン・オフが可能です。 キーレスドアロック操作毎に、オン、オフを切り替えます。

機能オフとなるドアロック時には サイレンが短く3回（キュキュキュ！）と鳴動します。

※ターボタイマー装着車両へ装着する場合は オプションリレー SBR-01 を装着することで
ターボタイマー作動時でも上記機能が作動可能ですが、エンジン稼働・停止時の振動を検出してしまう場合があります。

※リモートエンジンスタート装着車両でも通常とおり使用可能ですが、エンジン稼働・停止時の振動を検出してしまう場合があります。

※本装置は12V車専用です。 12V車両以外には取付けできません。

免責事項

装着の着手を以って、ご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても製作者に責は無いものとします。

取り付け手順

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。

※作業開始前に別紙の 配線説明図 を良く御覧いただき、各配線の接続先についてご理解をお願いします。

取付け準備

車体への取付けにあたり、事前に次の準備が必要です。

*配線の車体側接続先の確認

ボディーアース、常時12V電源、ACC（またはそれと同等の配線）、ドアロックアクチュエータ電源線です。ボディーアースは近隣の適切なネジへ、バッテリー電源、ACC等はオーディオ配線周りから分岐すると簡単です。ドアロックアクチュエータ電源線は、ドアロック/アンロック時に短時間だけそれぞれ+12Vが出る線です。通常はドア毎にドアロックアクチュエータが付いていますので、運転席側のドアロックアクチュエータ電源線を確認するのが良いと思います。取付け車種の配線図があれば容易に信号線の場所は特定できますが（購入されたディーラからコピーを入手する等）、無い場合、テスターを使って探すことになります。ドアロック・アンロックを繰り返しながらドアロックアクチュエータ電源線を探してください（運転席の足もと付近にコネクタがある場合が多いです）。

常時12V電源、ACC電源、ドアロックアクチュエータ電源線については当方HPで公開中の”キーレス連動ドアミラー格納装置”の豊富な車種別専用資料が参考となりますので是非ご覧ください。

各種配線の接続

注意：車側の各配線は切断しません。すべて本機配線と三又となるように接続します。

1. ドアロック時に+12Vとなるドアロックアクチュエータ電源線を 取付け車種の配線図または、テスターで確認します。
※ドアロック時に短い時間だけ+12Vとなります。通常は運転席足元右側付近にドアへ繋がっているコネクタが配置されています。その付近の配線をドアロック、アンロックを繰り返しながらテスターで確認してください。
2. ドアアンロック時に+12Vとなるドアロックアクチュエータ電源線を 取付け車種の配線図または、テスターで確認します。
※ドアアンロック時に短い時間だけ+12Vとなります。通常は運転席足元右側付近にドアへ繋がっているコネクタが配置されています。その付近の配線をドアロック、アンロックを繰り返しながらテスターで確認してください。
3. ドアロックアクチュエータ電源線を、本機の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
4. 本機の動作キャンセル条件信号線を接続します。
本線に12V入力で動作キャンセルとなりますので、動作キャンセルとさせたいタイミングで12Vとなる信号線に接続してください（例えばACC配線など）。
※ターボタイマー装着車両の場合、ターボタイマー作動時はACCがオン状況となるのでセキュリティ監視モードに移行できません。この場合、オプションリレー SBR-01 を装着することでACCオン状態でもサイドブレーキが有効となっていればセキュリティ監視を作動できます。SBR-01の結線方法については 別紙の配線説明図 を参照ください。
5. サイレンのプラス側配線を本機の対応する線と接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
6. サイレンのマイナス側配線をボディー金属部に接続してください。
7. 本機の 各種オプションセンサー起動コントロール配線 を接続します。
接続可能なセンサー配線は”ボディーアース接続でセンサーを起動させるコントロール配線”となります。詳細は別紙の配線説明図を参照ください
8. 本機の 各種オプションセンサー警告送出配線 を接続します。
接続可能なセンサー配線は”警報送出時（例えば衝撃を検出したときなど）にボディーアースとなるコントロール配線”となります。詳細は別紙の配線説明図を参照ください
※各種オプションセンサーの電源線他に必要な結線についてはオプション付属の説明書をご覧ください。
9. 本機の常時12V電源、ボディーアース線を接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
10. 接続が完了したら動作確認を実施してください。
正常動作が確認できましたら、本体とオプションセンサーを適切な場所に固定してください。
※各センサーの感度調整方法などについては、別紙の各種センサー参考説明書をご覧ください。

以上で終了です！ お疲れ様でした！